

- いのちの大切さ
- 親の見守り
- 仲間との協力

もり どんぐり森へ

～ひとりにひとつのたからもの～



【企画】北九州市・北九州市教育委員会

【制作】(株) アクシス

【配給】△ 東映株式会社 教育映像部

【制作意図】

今日、テレビ番組やビデオ、テレビゲームなどには、暴力や殺人などの残酷なシーンが多く含まれています。そういった虚構の世界の「生と死」に頻繁に接している幼い子どもたちは、「いのちは、再生可能なもの」と思い込み、いのちの尊さに対する感性が希薄化しているといえます。

このアニメーションでは、虫をいじめていたわんぱく少年が、どんぐり森で体験する不思議な出来事を通して、どんな生き物にもいのちがあり、それは、たった一つしかなく、失うと2度とは戻ってこない大切なものであることを学んでいく姿を描いています。

子どもたちが、このビデオを楽しみながら、いのちを大切にする心を育んでいくとともに、自分も、大事ないのちを持っているかけがえのない存在であることを自覚して欲しいと願っています。

販売価格（消費税別途）

16mmフィルム 130,000円

VHSビデオ 44,000円（学校価格 22,000円）

もり どんぐり森へ



ものがたり

保育園に通うタックくんは虫が大好き。虫をつかまえては乱暴に扱うので、お母さんに叱られている。

そんなある日、タックくんは近所の『ぐるぐる公園』で、偶然、木の枝から落ちてきた鳥のたまごを手にする。そのたまごは『くもり病』にかかっていた。巣を離れられないお母さん鳥に代わって、タックくんがそのたまごを公園の裏の『どんぐり森』にある『どんぐり病院』まで連れていくことに。

ところが、お母さん鳥に教えてもらった入り口から『どんぐり森』に入った途端、タックくんの体だけが小さくなってしまう。森の中では、コウモリのいたずらなど、困難に遭いながらも、森で出会った仲間たちの助けで、ようやく目指す『どんぐり病院』に到着する。

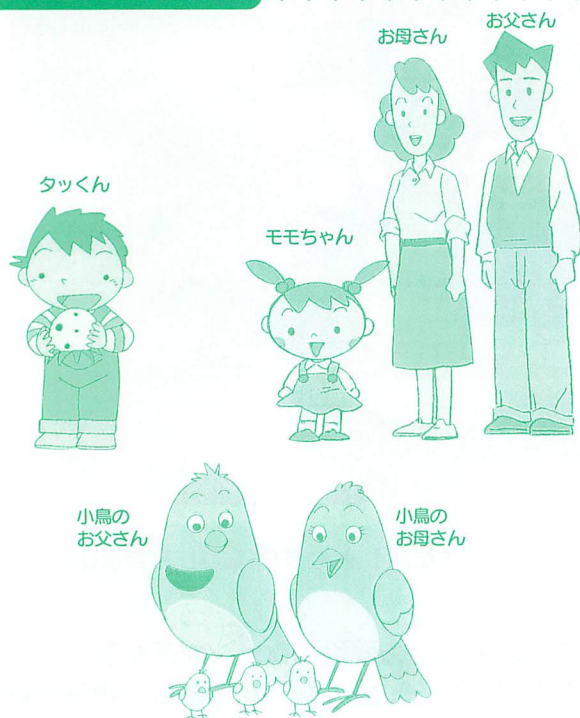
しかし、たまごを診察したフクロウ先生は、もう病院にある薬では効かないという。最後の望みをかけて、森の中へ『ラマラマのしずく』を集めに行くが・・・。

『どんぐり森』での不思議な体験を通して、タックくんが見つけた“ひとりにひとつのたからもの”とは・・・。

※「ラマ」はアイヌ語で「魂」の意味



主な登場人物



【スタッフ】

原作・・・内田万寿美
脚本・・・橋本美佐子
監督・・・藤井 正和
監督補・・・小林 三男

原画・・・菊田 武勝
動画・・・山本 理恵
美術・・・田中 静恵
音楽監督・・・伊藤 克己

音楽効果・・・スワ・プロダクション
声優・・・ぶるどくしょん バカバ
セル仕上げ・・・スタジオ・キャッツ
撮影・・・スタジオ・ユー

V編・録音・・・東京テレビセンター
現像・・・コンディ・アイ・エー
プロデュース・・・鈴木 光昭
制作進行・・・市川 修

制作・・・(株)アクシス
プロデューサー・・・大野 光司
総合進行・・・伊藤 和美

お求めは・・・



東映株式会社 教育映像部

東京都中央区京橋2-17-1 TEL.03-3535-3631 FAX.03-3535-3632

関東営業所 東京都中央区京橋2-17-1 〒104-0031 ☎03-3535-3631
関西営業所 大阪市北区曽根崎新地1-13-22 〒530-0002 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730-0042 ☎082-249-3930
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766
中部営業所 名古屋市中区錦3-24-3 〒460-0003 ☎052-971-0923
九州営業所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101
北海道営業所 札幌市中央区南一条西7-4 〒060-0061 ☎011-231-1439